

## 2.調査結果

### 2.1 ISO9000sに関する調査結果

#### (1) 建設会社

(社)日本土木工業協会または、(社)建築業協会に加盟する企業の調査結果(回答社数147社)は以下のとおりである。

#### ISO9000sに関する知識・認識

ISO9000sの2000年版の内容に対する理解度は、ほぼ100%となっている。

- ・ISO9000sの要求項目等の内容については、「十分に知っている」及び「少し知っている」が平成11年度において約100%であったため、平成12年度ではISO9000sの内容が2000年に改訂されたことに対して質問した結果、「十分に知っている」及び「少し知っている」がほぼ100%であった。

#### ISO9000sの認証取得状況

ISO9000sを既に取得している部署のある会社は、ほぼ100%となっている。

- ・ISO9000sの認証取得企業は、平成8年度から12年度まで8%、42%、72%、89%、99%と推移しており、昨年と比較して10ポイント増加している。
- ・ISO9000sの認証取得予定企業および取得済み企業の合計は、平成6年度の4%から平成12年度まで4%、22%、77%、93%、95%、99%、100%と推移しておりほとんどの企業が取得している

#### 審査登録機関および審査員の状況

審査登録機関および審査員の状況については、昨年と比較して満足度は高くなっており、約70%が満足している。

- ・審査登録機関の状況について、「満足している」が平成6年度から平成12年度まで5%、6%、13%、37%、50%、62%、76%と推移しており、昨年と比較して14ポイント増加している。
- ・審査登録機関に対して満足していない理由について、「運用・体制が適切でない」が34%、「建設事業に詳しい機関がない・少ない」が22%であった。
- ・審査員の状況について、「満足している」が平成6年度から平成12年度まで5%、4%、8%、28%、41%、53%、64%と推移しており、昨年と比較して11ポイント増加している。
- ・審査員に対して満足していない理由について、「審査が適切でない」が31%、「審査員の能力欠如」が25%であった。

#### ISO9000s導入の長所・成果

ISO9000sを導入した際に考えられる長所・成果として「責任の明確化による組織の効率化」をあげる企業が25%と最も多く、次いで「従業員の品質に関する意識」(24%)、「企業イメージの向上」(19%)となっており、昨年とほぼ同じ結果となった。

## (2) 建設関連会社

平成 8 年度より調査対象となっている(社)日本道路建設業協会(略称:道建協)(社)日本橋梁建設協会(略称:橋梁協会)(社)ダム・堰施設技術協会(略称:ダム・堰協)(社)河川ポンプ施設技術協会(略称:河川ポンプ)(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会(略称:PC協会)および(社)日本空調衛生工事業協会(略称:空衛協)(社)日本電設工業協会(略称:電設協会)の7つの各建設関連協会(建設関連会社)に加盟する企業の調査結果(回答社数 409 社)は以下のとおりである。

### ISO9000s に関する知識・認識

ISO9000s の 2000 年版の内容に対する理解度は、約 90%となっている。

- ・ ISO9000s の要求項目等の内容については、「十分に知っている」及び「少し知っている」が平成 11 年度において 100%であったため、平成 12 年度では ISO9000s の内容が 2000 年に改訂されたことに対して質問した結果、「十分に知っている」及び「少し知っている」が 88%であった。

### ISO9000s の認証取得状況

ISO9000s を既に取得している部署のある会社は、約 70%となっている。

- ・ ISO9000s の認証取得企業は、平成 8 年度から平成 12 年度まで 20%、40%、59%、80% 71%と推移している。
- ・ ISO9000s の認証取得予定企業および取得済み企業の合計は、平成 8 年度から平成 12 年度まで 74%、78%、90%、98%、91%と推移している。

### 審査登録機関および審査員の状況

審査登録機関および審査員の状況については、昨年と比較して満足度は高くなっている。

- ・ 審査登録機関の状況について、「満足している」が平成 8 年度から平成 12 年度まで 31%、47%、54%、65%、65%と推移している。
- ・ 審査登録機関に対して満足していない理由について、「建設事業に詳しい機関がない・少ない」が 32%、「運用・体制が適切でない」が 22%であった。
- ・ 審査員の状況について、「満足している」が平成 8 年度から平成 12 年度まで 29%、40%、52%、65%、64%と推移している。
- ・ 審査員に対して満足していない理由について、「建設事業に詳しくない」が 36%、「審査が適切でない」が 30%であった。

#### ISO9000s 導入の長所・成果

ISO9000s を導入した際に考えられる長所・成果として「従業員の品質に関する意識の向上」をあげる企業が24%と最も多く、次いで「企業イメージの向上」(23%)、「責任の明確化による組織の効率化」(21%)となっており、昨年とほぼ同じ結果となった。

### (3) 建設関連会社

平成9年度より対象となっている(社)全国測量設計業協会連合会(略称:全測連)(社)全国地質調査業協会連合会(略称:全地連)(社)セメント協会(略称:セメント協)の3つの各建設関連団体(建設関連会社)に加盟する企業の調査結果は(回答社数404社)は以下のとおりである。

#### ISO9000sに関する知識・認識

ISO9000sの2000年版の内容に対する理解度は、約80%となっている。

- ・ISO9000sの要求項目等の内容については、「十分に知っている」及び「少し知っている」が平成11年度において90%以上であったため、平成12年度ではISO9000sの内容が2000年に改訂されたことに対して質問した結果、「十分に知っている」及び「少し知っている」が83%であった。

#### ISO9000sの認証取得状況

ISO9000sを既に取得している部署のある会社は、昨年と比較して増加しており、約40%となっている。

- ・ISO9000sの認証取得企業は、平成9年度から平成12年度まで2%、6%、21%、44%と推移しており、昨年と比較して23ポイント増加している。
- ・ISO9000sの認証取得予定企業および取得済み企業の合計は、平成8年度から平成12年度まで30%、45%、68%、82%と推移しており、昨年と比較して14ポイント増加している。

#### 審査登録機関および審査員の状況

審査登録機関および審査員の状況については、昨年と比較して満足度は高くなっている。

- ・審査登録機関の状況について、「満足している」が平成9年度から平成12年度まで10%、14%、26%、46%と推移しており、昨年と比較して20ポイント増加している。
- ・審査登録機関に対して満足していない理由について、「建設事業に詳しい機関がない・少ない」が40%、「専用機関がない・少ない」が23%であった。
- ・審査員の状況について、「満足している」が平成9年度から平成12年度まで8%、13%、23%、46%と推移しており、昨年と比較して23ポイント増加している。
- ・審査員に対して満足していない理由について、「建設事業に詳しくない」が62%、「審査が適切でない」が20%であった。

#### ISO9000s導入の長所・成果

ISO9000sを導入した際に、考えられる長所・成果として、「従業員の品質に対する意識の向上」をあげる企業が27%と最も多く、次いで「企業イメージの向上」(24%)、「責任の明確化による組織の効率化」(20%)となっており、昨年とほぼ同じ結果となった。

#### (4) 建設コンサルタント会社

(社)建設コンサルタンツ協会に加盟する企業の調査結果(回答社数 335 社)は以下のとおりである。

##### ISO9000s に関する知識・認識

ISO9000s の 2000 年版の内容に対する理解度は、約 90%となっている。

- ・ISO9000s の要求項目等の内容については、「十分に知っている」及び「少し知っている」が平成 11 年度において 90%以上であったため、平成 12 年度では ISO9000s の内容が 2000 年に改訂されたことに対して質問した結果、「十分に知っている」及び「少し知っている」が 91%であった。

##### ISO9000s の認証取得状況

ISO9000s を既に取得している部署のある会社は、昨年と比較して増加しており、約 70%となっている。

- ・ISO9000s の認証取得企業は、平成 8 年度から平成 12 年度まで 1%、2%、17%、42%、67%と推移しており、昨年と比較して 25 ポイント増加している。
- ・ISO9000s の認証取得予定企業および取得済み企業の合計は、27%、45%、80%、94%、98%と推移しており、昨年と比較して 4 ポイント増加している。

##### 審査登録機関および審査員の状況

審査登録機関および審査員の状況については、昨年と比較して満足度は高くなっている。

- ・審査登録機関の状況について、「満足している」が平成 8 年度から平成 12 年度まで 3%、11%、27%、47%、65%と推移しており、昨年と比較して 18 ポイント増加している。
- ・審査登録機関に対して満足していない理由について、「建設事業に詳しい機関がない・少ない」が 40%、「運用・体制が適切でない」が 17%であった。
- ・審査員の状況について、「満足している」が平成 8 年度から平成 12 年度まで 3%、8%、27%、43%、63%と推移と推移しており、昨年と比較して 20 ポイント増加している。
- ・審査員に対して満足していない理由について、「建設事業に詳しくない」が 49%、「審査が適切でない」が 21%であった。

##### ISO9000s 導入の長所・成果

ISO9000s を導入した際に考えられる長所・成果として「従業員の品質に対する意識の向上」をあげる企業が 27%と最も多く、次いで「企業イメージの向上」(22%)、「責任の明確化による組織の効率化」(21%)となっている